

全建統一様式

取引業者

安全衛生管理提出書類

ヤマト工業株式会社

〇〇〇港整備工事作業所

統括安全衛生責任者

夏川 二郎

殿

記入例

会社名

大山建設株式会社

工事担当者名 中島 明

電話番号 〇〇〇-×××-△△△

当社の工事を受注された協力業者におかれましては、下記書類のご提出をお願い致します。
 なお、ご提出戴いた下記書類に記載された個人情報、適正に管理するとともに、当工事の施工
 管理目的以外に使用致しません。

記

提出書類一覧表

提出書類の名称	様式	確認印	提出時期
1. 安全衛生環境管理に関する通知・誓約書 ・安全衛生管理提出書類作成の通知 ・安全衛生環境管理に関する誓約書	様式1-1 様式1-2		<ul style="list-style-type: none"> 原則として担当工事着手 5日前までに 工事中変更の都度 差し替え 追加分については遅滞なく
2. 下請負状況報告書 ・建設業法雇用改善法に基づく届出書 (変更届) ・下請負業者編成表 ・工事作業所災害防止協議会兼施工体系図 ・施工体制台帳	様式2-1 様式2-2 様式2-3 様式2-4		
3. 作業員名簿 ・作業員名簿	様式3-1		
4. 免許、技能講習修了証、特別教育修了証の写 ・資格証写し	様式4-1		
5. 年少者就労報告書 ・年少者就労報告者	様式5-1		
6. 不法就労外国人を雇用しない誓約書 ・不法就労外国人を雇用しない誓約書 ・外国人建設就労者等現場入場届出書 ・外国人技能実習生建設現場入場許可申請書	様式6-1 様式6-2 様式6-3		
7. 作業所安全衛生管理計画 ・作業所安全衛生管理計画書	様式7-1		
8. 持込機械使用届 ・持込機械等(電動工具等)使用届 ・持込機械等(移動式クレーン等)使用届 ・持込時の点検表 ・持込機械(自航式作業船)使用届	様式8-1 様式8-2 様式8-3 様式8-4		機械持込の都度
9. 建設機械の作業計画書 ・移動式クレーン作業計画書 ・車両系建設機械作業計画書 ・車両系建設機械(解体用)作業計画書 ・車両系建設機械(荷役運搬)作業計画書 ・コンクリートポンプ車作業計画書 ・高所作業車作業計画書 ・クレーン付き台船(1作業)作業計画書 ・クレーン付き台船(2作業)作業計画書 ・クレーン仕様BH作業計画書	作業計画書-1 作業計画書-2 作業計画書-3 作業計画書-4 作業計画書-5 作業計画書-6 作業計画書-7 作業計画書-8 作業計画書-9		持ち込前
10. 火気使用届、危険物・有害物使用届 ・火気使用申請書 ・有機溶剤・特定化学物質等持込使用届	様式10-1 様式10-2		火気使用の場合
11. 通勤・工事用車輛届 ・通勤・工事用車輛届 ・交通KYマップ	様式11-1 様式11-2		車輛使用の場合

協力業者の皆さんへ

ヤマト工業株式会社

作業所名 〇〇〇港整備工事作業所

安全衛生管理提出書類作成の通知

安全衛生管理提出書類を定められた期限までに作成し、提出して下さい。

また当工事は、建設業法（昭和24年法律第100号）第24条の8に基づく施工体制台帳の作成を要する建設工事です。

この建設工事に従事する下請負業者の方は、一次、二次等の層次を問わず、その請け負った建設工事を他の建設業を営む者（建設業法第24条の8第2項第1号に該当する者を含みます。）に請け負わせたときは、速やかに次の手続を完了して下さい。

なお、一度提出した書類に変更が生じた場合は、変更の年月日を付記して再提出しなさい。

①再下請負通知書

建設業法第24条の7第2項第1号に基づき、建設業法施行規則(昭和24年建設省令第14号)第14条の4に規定する再下請負通知書により、自社の建設業登録や主任技術者等の選任状況及び再下請負契約がある場合はその状況を、直近上位の注文者を通じて元請負業者に報告されることとなります。

監督員とは、請負契約の的確な履行を担保するため、注文者の代理人として、設計図書に従って工事が施工されているか否かを監督するもので、材料調合、見本検査等にも立ち会うのが例とされる。これは建設工事は、性質上工事完成後に施工上の瑕疵を発見することは困難であり、また仮に瑕疵を発見することができても、それを修復するには相当の費用を要する場合が多く、施工の段階で逐次監督する事が合理的であることによる。その権限が現場代理人に委任されている場合は「現場代理人名」（監理技術者、現場責

工事現場から

記載事業者は

より、ご留意ください。

書面に押印する事によって同意したものとします。

元 請 名	ヤマト工業 株式会社		
発 注 者 名	□□地方整備局〇〇事務所		
工 事 名	〇〇〇港△△護岸整備他工事(その6)		
監 督 員 名	夏川 二郎	権 限 及 び 意見申出方法	・下請負契約第〇〇条記載のとおり ・文章による(下請負契約△△のとおり)
提出先及び 担 当 者	作業所 秋島 五郎		

建設業法・雇用改善法等に基づく届出書(変更届)

(再下請負通知書様式)

直近上位の
注文者名 ヤマト工業 株式会社

現場代理人名
(所長名) 夏川 二郎 殿

元請名称
事業者ID ヤマト工業 株式会社
ID:81774663775122

【報告下請負業者】
〒101-XXXXX
住所 大阪府〇〇市××町△△〇〇番□□号

TEL 06-555-〇〇〇〇

FAX 06-555-〇〇〇〇

会社名 大山建設 株式会社
事業者ID ID:98765432198765

代表者名 大山 一郎 (印)

《自社に関する事項》

工事名称及び
工事内容 ○〇〇港△△護岸整備工事(その6)
護岸築造 消波ブロック設置

工期 自 令和〇年〇月〇日 至 令和〇年〇月〇日

注文者との
契約日 令和〇年×月×日

建設業の 許可	施工に必要な許可業種		許可番号		許可(更新)年月日	
	とび・土工 鉄筋	工事業	大臣 特定 知事 一般	第 115 号	平成〇年△月〇日	
		工事業	大臣 特定 知事 一般	第 号	平成 年 月 日	

健康保険等の 加入状況	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
	加入の有無	加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外
事業所 整理番号	営業所の名称 大山建設 株式会社	健康保険 〇△健康保険組合 ××-××××	厚生年金保険 ××-××××	雇用保険 ××-××××	××-××××	××-××××

監督員名 中島 明

権限及び
意見申出方法 ・下請負契約書第〇条記載のとおり
・文書による

現場代理人名 中島 明

権限及び
意見申出方法 ・請負契約書第〇条記載のとおり
・文書による

※主任技術者名 専任 大沢 常男

資格内容 建設業法「技術検定」
一級施工管理技士

安全衛生責任者名 中島 明

安全衛生推進者名 谷口 六郎

雇用管理責任者名 総務部 鈴木 四郎

※専門技術者名

資格内容

担当工事内容

※登録基幹技能者
名・種類

一号特定技能外国人 の従事状況(有無)	有 ・ 無	外国人建設就労者の 従事状況(有無)	有 ・ 無	外国人技能実習生の 従事状況(有無)	有 ・ 無
------------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	-------

監督員とは請負契約の的確な履行を担保するため、注文者の代理人として、設計図書に従って工事が施工されているか否かを監督するもので、材料調合、見本検査等にも立ち会うのが例とされる。これは建設工事は、性質上工事完成後に施工上の瑕疵を発見することは困難であり、また仮に瑕疵を発見することができても、それを修復するには相当の費用を要する場合が多く、施工の段階で逐次監督する事が合理的であることによる。その権限が現場代理人に委任されている場合は「現場代理人」を記載する。

5. ①出入国及び難民認定法(昭和26政令319号)別表第1の2の表の技能実習の在留資格が決定された者(以下「外国人技能実習生」という。)が、当該建設工事に従事する場合は「有」、従事する予定がない場合は「無」を○で囲む。
- ②同法別表第1の5の表の上欄の在留資格が決定された者であって、国土交通大臣が定めるもの(以下「外国人建設就労者」という。)が、建設工事に従事する場合は「有」、従事する予定がない場合は「無」を○で囲む。
- ③同法別表第1の2の票の特定技能一号の在留資格が決定された者が、当該建設工事に従事する場合は「有」、従事する予定がない場合は「無」を○で囲む。

《再下請負関係》

再下請負業者及び再下請負契約関係について次のとおり報告いたします。

会社名 事業者ID	株式会社 山田工務店 ID:12345678912345	代表者名	山田 二郎
住所 電話番号	〒101-XXXXX 大阪府××市△△町□□-〇〇-△△ 03-0341-XXXXX		
工事名称 及び 工事内容	〇〇〇港△△護岸整備工事(その6) の内護岸型枠工事		
工期	自 令和〇年〇月〇日 至 令和〇年〇月〇日	契約日	令和〇年×月×日

建設業の 許可	施工に必要な許可業種		許可番号		許可(更新)年月日	
	大工	工事業	大臣 特定 知事 一般	25 第 2351 号	平成〇年△月△日	
		工事業	大臣 特定 知事 一般	第 号	平成 年 月 日	

健康保険等の 加入状況	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
	加入の有無	加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外
事業所 整理記号等	営業所の名称 (株)山田工務店	健康保険 〇△健康保険組合 ××-××××	厚生年金保険 ××-××××	雇用保険 ××-××××	××-××××	××-××××

現場代理人名 間島 健児

権限及び
意見申出方法 ・下請負契約書第〇条記載のとおり
・文書による

※主任技術者名 専任 間島 健児
非専任

資格内容 建設業法「技術検定」又は
10年以上の実務経験等

登録基幹技能者名

安全衛生責任者名 間島 健児

安全衛生推進者名 加藤 和夫

雇用管理責任者名 総務部長 青木 正男

※専門技術者名

資格内容

担当工事内容

一号特定技能外国人 の従事状況(有無)	有 ・ 無	外国人建設就労者の 従事状況(有無)	有 ・ 無	外国人技能実習生の 従事状況(有無)	有 ・ 無
------------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	-------

- 健康保険等の加入状況の記入要領
- 各保険の適用を受ける営業所について届け出を行っている場合には「加入」、行っていない場合(適用を受ける営業所が複数あり、そのうち一部について行っていない場合を含む)は「未加入」、従業員規模等により各保険の適用を除外される場合は「適用除外」を○で囲む。
 - 事業所整理記号等の営業所名称欄には、請負契約に係る営業所の名称を記載する。
 - 健康保険欄には、事業所整理記号及び事業所番号(健康保険組合にあっては組合名)を記載する。一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を記載する。
 - 厚生年金保険欄には、事業所整理記号及び事業所番号を記載する。一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を記載する。
 - 雇用保険欄には、労働保険番号を記載する。継続事業の一括の認可に係る営業所の場合は、本店の労働保険番号を記載する。

※なお、この様式左側について、直近上位の注文者との請負契約に係る営業所以外の営業所で再下請負業者との請負契約を行う場合には欄をそれぞれ追加する。

- ※ [主任技術者、専門技術者、登録基幹技能者の記入要領]
- 主任技術者の配属状況について [専任・非専任]のいずれかに○印を付すこと。
 - 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。
 - 登録基幹技能者が複数いる場合は、適宜欄を設けて全員を記載する。
 - 主任技術者の資格内容(該当するものを選んで記載する。)

①経験年数による場合	②資格等による場合
1) 大学卒 [指定学科] 3年以上の実務経験	1) 建設業法「技術検定」
2) 高校卒 [指定学科] 5年以上の実務経験	2) 建築士法「建築士試験」
3) その他 10年以上の実務経験	3) 技術士法「技術士試験」
	4) 電気工事士法「電気工事士試験」
	5) 電気事業法「電気主任技術者国家試験等」
	6) 消防法「消防設備士試験」
	7) 職業能力開発促進法「技能検定」

下請負業者編成表

(一次下請負業者＝作成下請負業者)

躯体	会社名 事業者 ID	大山建設 株式会社 ID : 98765432198765
	代表者名	大山 一郎
	許可番号	国土交通大臣許可(特-28)第115号
	一般/特定の別	一般 / 特定
	安全衛生責任者	中島 明
	主任技術者	大沢 常男
	特定専門 工事の該当	有 / 無
工事	専門技術者	
	担当工事内容	
	登録基幹 技能者名	
工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日	

(二次下請負業者)

型枠	会社名 事業者 ID	(株)山田工務店 ID:12345678912345
	代表者名	山田 二郎
	許可番号	××知事許可(特-25) 第2351号
	一般/特定の別	一般 / 特定
	安全衛生責任者	間島 健児
	主任技術者	間島 健児
	特定専門 工事の該当	有 / 無
工事	専門技術者	
	担当工事内容	
工期	R〇年△月□日 ~ R〇年□月△日	

(三次下請負業者)

鉄筋	会社名 事業者 ID	朝日鉄筋(株) ID:14725836914725
	代表者名	藤友 祐樹
	許可番号	△△知事許可(一般-25) 第03401号
	一般/特定の別	一般 / 特定
	安全衛生責任者	原田 卓
	主任技術者	原田 卓
	特定専門 工事の該当	有 / 無
工事	専門技術者	
	担当工事内容	
工期	R〇年×月△日 ~ R〇年△月×日	

(二次下請負業者)

躯体	会社名 事業者ID	
	代表者名	
	許可番号	
	一般/特定の別	一般 / 特定
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	特定専門 工事の該当	有 / 無
工事	専門技術者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ~ 年 月 日	

(三次下請負業者)

型枠 (基礎部分)	会社名 事業者 ID	(株)山下組 ID:96385274196385
	代表者名	山下 哲夫
	許可番号	××知事許可(一般-29) 第0422号
	一般/特定の別	一般 / 特定
	安全衛生責任者	山下 良男
	主任技術者	山下 良男
	特定専門 工事の該当	有 / 無
工事	専門技術者	
	担当工事内容	
工期	R〇年×月△日 ~ R〇年△月×日	

(三次下請負業者)

躯体	会社名 事業者 ID	
	代表者名	
	許可番号	
	一般/特定の別	一般 / 特定
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	特定専門 工事の該当	有 / 無
工事	専門技術者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ~ 年 月 日	

(三次下請負業者)

躯体	会社名 事業者ID	
	代表者名	
	許可番号	
	一般/特定の別	一般 / 特定
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	特定専門 工事の該当	有 / 無
工事	専門技術者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ~ 年 月 日	

- (記入要領)
- 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から提出された「届出書」(様式1号-甲)に基づいて本表を作成の上、元請に届出ること。
 - この下請負業者編成表でまとめきれない場合には、本様式をコピーするなどして適宜使用すること。
 - 二次下請負業者を使用しない場合は、この書類は提出不要。

施工体系図 (掲示例)

(元請記入)

発注者名	〇〇地方整備局〇〇事務所
工事名称	〇〇〇港△△護岸整備工事(その6)

元請業者名	ヤマト工業 株式会社
元請業者ID	ID: 81774663775122
監督員名	夏川 二郎
監理技術者名	秋島 五郎
主任技術者名	秋島 五郎
監理技術者補佐名	藤丸 真也
専門技術者	
担当工事内容	
専門技術者	
担当工事内容	

会長	統括安全衛生責任者 夏川 二郎	元方安全衛生管理者 秋島 五郎
副会長	大山建設(株) 中島 明	書記 佐藤 太郎

※施工体系図を作成して事業所内の見やすい場所に掲げる
 ※再下請負通知書、下請負業者編成表等を参考に
 して記入し、契約の流れを実線で表示する
 ※警備会社に関しては、国土交通省発注工事については商号又は名称、現場責任者名及び工期を記入する

※この書類は下請負業者編成表に基づき、元請業者が作成する。

工事作業所災害防止協議会兼施工体系図

工期	自 令和 〇年 〇月 〇日
	至 令和 〇年 〇月 〇日

躯体

会社名	大山建設(株)
事業者ID	ID: 98765432198765
代表者名	大山 一郎
許可番号	国土交通大臣許可(特-28)第115号
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	躯体工事
安全衛生責任者	中島 明
主任技術者	大沢 常男
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 〇年 〇月 〇日

型枠

会社名	(株)山田工務店
事業者ID	ID: 12345678912345
代表者名	山田 二郎
許可番号	××知事許可(特-25)第2351号
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	護岸型枠工事
安全衛生責任者	間島 健児
主任技術者	間島 健児
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 〇年 〇月 〇日

型枠

会社名	(株)山下組
事業者ID	ID: 9638527419638
代表者名	山下 哲夫
許可番号	××知事許可(一般-29)第0422号
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	護岸型枠工事(基礎部分)
安全衛生責任者	山下 良男
主任技術者	山下 良男
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 〇年 〇月 〇日

会社名	
事業者ID	
代表者名	
許可番号	
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	
安全衛生責任者	
主任技術者	
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 年 月 日

会社名	
事業者ID	
代表者名	
許可番号	
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	
安全衛生責任者	
主任技術者	
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 年 月 日

資機材揚重相伴

会社名	大阪海運(株)
事業者ID	ID: 31649785231649
代表者名	田中 良一
許可番号	××知事許可(一般-28)第1635号
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	資機材揚重相伴
安全衛生責任者	藤田 和也
主任技術者	藤田 和也
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 〇年 〇月 〇日

鉄筋

会社名	朝日鉄筋(株)
事業者ID	ID: 1472593691472
代表者名	藤友 祐樹
許可番号	△△知事許可(一般-25)第03401号
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	護岸鉄筋工事
安全衛生責任者	原田 卓
主任技術者	原田 卓
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 〇年 〇月 〇日

会社名	
事業者ID	
代表者名	
許可番号	
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	
安全衛生責任者	
主任技術者	
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 年 月 日

会社名	
事業者ID	
代表者名	
許可番号	
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	
安全衛生責任者	
主任技術者	
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 年 月 日

会社名	
事業者ID	
代表者名	
許可番号	
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	
安全衛生責任者	
主任技術者	
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 年 月 日

海洋・測量

会社名	海洋調査(株)
事業者ID	ID: 15935748615975
代表者名	東原 奏多
許可番号	××知事許可(一般-24)第0025号
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	事前測量
安全衛生責任者	松田 健二
主任技術者	
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 〇年 〇月 〇日

会社名	
事業者ID	
代表者名	
許可番号	
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	
安全衛生責任者	
主任技術者	
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 年 月 日

会社名	
事業者ID	
代表者名	
許可番号	
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	
安全衛生責任者	
主任技術者	
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 年 月 日

会社名	
事業者ID	
代表者名	
許可番号	
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	
安全衛生責任者	
主任技術者	
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 年 月 日

会社名	
事業者ID	
代表者名	
許可番号	
一般/特定の別	一般/特定
工事内容	
安全衛生責任者	
主任技術者	
特定専門工事の該当	有 / 無
専門技術者	
担当工事内容	
工期	令和 年 月 日

施工体制台帳

[会社名・事業者ID] ヤマト工業 株式会社 ID:81774663775122

[作業所名・現場ID] ○○○港整備工事作業所

建設業の許可	許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	土木 工事業	大臣 特定 知事 一般 28 第 115 号	平成 〇 年 〇 月 〇 日
	工事業	大臣 特定 知事 一般 第 号	平成 年 月 日

工事名称及び工事内容	○○○港△△護岸整備他工事(その6) 施行延長200m 護岸地構造 消波ブロック設置		
発注者及び住所	□□地方整備局○○事務所 ○○○市築港6丁目○番地		
工期	自 令和 〇 年 〇 月 〇 日 至 令和 〇 年 〇 月 〇 日	契約日	令和 〇 年 〇 月 〇 日

契約営業所	区分	名称	住所
	元請契約	○○○工業(株)	○○○市港区□町7-3
	下請契約	○○○工業(株)	○○○市港区□町7-3

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外
	事業所整理記号等	区分	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	
		元請契約	ヤマト工業(株)	△健康保険組合 ××-×××	××-××××-×××××	××-×××××-×××××	
下請契約	ヤマト工業(株)	同上	同上	同上	同上		

発注者の監督員名	吉田 忠夫 技官	権限及び意見申出方法	請負契約書第〇〇条記載のとおり 文書による(契約書第△△条のとおり)
----------	----------	------------	---------------------------------------

監督員名	夏川 二郎	権限及び意見申出方法	下請負契約書第〇〇条記載のとおり 文書による(契約書第△△条のとおり)
現場代理人名	夏川 二郎	権限及び意見申出方法	請負契約書第〇〇条記載のとおり 文書による
監理技術者・主任技術者	専任 秋島 五郎	資格内容	10年以上の実務経験
監理技術者補佐名	藤丸 真也	資格内容	建設業法「技術検定」 一級土木施工管理技士一次
専門技術者名		専門技術者名	
資格内容		資格内容	
担当工事内容		担当工事内容	

一号特定技能外国人の従事状況(有無)	有 無	外国人建設就労者の従事状況(有無)	有 無	外国人技能実習生の従事状況(有無)	有 無
--------------------	-----	-------------------	-----	-------------------	-----

- (記入要領) 1. この様式は元請が作成し、一次下請負業者を通じて報告される再下請負通知書を添付する事により、一次下請業者別の施工体制台帳として利用する。
2. 上記の記載事項が発注者との請負契約書や下請負契約書に記載が有る場合はその写しを添付する事により記載を省略する事が出来る。
3. 監理技術者又は主任技術者の配属状況について「専任・非専任」のいずれかに○印を付けること。
4. 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(監理技術者が専門技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることが出来る)
5. 監理技術者又は主任技術者及び専門技術者について次のものを添付すること。
①資格を証するものの写し ②自社従業員である証明書類の写し(従業員証、健康保険証)
6. ①出入国及び難民認定法(昭和26政令319号)別表第1の2の表の技能実習の在留資格を決定された者(以下「外国人技能実習生」という。)が、当該建設工事に従事する場合は「有」、従事する予定がない場合は「無」を○で囲む。
②同法別表第1の5の表の上欄の在留資格が決定された者であって、国土交通大臣が定めるもの(以下「外国人建設就労者」という。)が、建設工事に従事する場合は「有」、従事する予定がない場合は「無」を○で囲む。
③同法別表第1の2の表の特定技能一号の在留資格を決定された者が、当該建設工事に従事する場合は「有」、従事する予定がない場合は「無」を○で囲む。

《下請負人に関する事項》

会社名 事業者ID	大山建設 株式会社 ID:98765432198765	代表者名	大山 一郎
住所 電話番号	〒101-××× 大阪府〇〇市××町△△〇〇番□□号 (TEL 06-5555-〇〇〇)		
工事名称 及び 工事内容	○○○港△△護岸整備工事(その6) 護岸築造 消波ブロック設置		
工期	自 令和 〇 年 〇 月 〇 日 至 令和 〇 年 〇 月 〇 日	契約日	令和 〇 年 〇 月 〇 日

建設業の許可	施工に必要な許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	とび・土工 鉄筋 工事業	大臣 特定 知事 一般 第 115 号	平成 〇 年 〇 月 〇 日
	工事業	大臣 特定 知事 一般 第 号	平成 年 月 日

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外
	事業所整理記号等	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険		
	大山建設(株)	△健康保険組合 ××-×××	××-××××-×××××	××-×××××-×××××			

現場代理人名	中島 明	安全衛生推進者名	中島 明
権限及び意見申出方法	・下請負契約書第〇条記載のとおり ・文書による	安全衛生推進者名	谷口 六郎
※主任技術者名	専任 大沢 常男	雇用管理責任者名	総務部 鈴木 四郎
資格内容	建設業法「技術検定」 一級土木施工管理技士	※専門技術者名	
		資格内容	
		担当工事内容	

一号特定技能外国人の従事状況(有無)	有 無	外国人建設就労者の従事状況(有無)	有 無	外国人技能実習生の従事状況(有無)	有 無
--------------------	-----	-------------------	-----	-------------------	-----

7. 健康保険等の加入状況の保険加入の有無欄には、各保険の適用を受ける営業所について届け出を行っている場合は「加入」を、行っていない場合(適用を受ける営業所が複数あり、そのうち一部について行っていない場合を含む)は「未加入」を、従業員規模等により各保険の適用が除外される場合は「適用除外」を○で囲む。事業所整理記号等の営業所の名称欄には、この様式左側の営業所の名称欄には元請契約に係る営業所の名称及び下請契約に係る営業所の名称を、右側の一次下請負人に関する事項は請負契約に係る営業所の名称を、健康保険欄には、事業所整理記号及び事業所番号(健康保険組合にあつては組合名)を、一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を、厚生年金保険欄には、事業所整理記号及び事業所番号を、一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を、雇用保険欄には、労働保険番号を、継続事業の一括の認可に係る営業所の場合は、本店の労働保険番号をそれぞれきさいする。
なお、この様式左側について、元請契約に係る営業所で下請契約を行う場合は、下請契約欄に「同上」と記載する。右側の一次下請負人に関する事項については、請負契約に係る営業所以外の営業所で再下請負契約を行う場合には欄を追加して記載する。
8. 監理技術者の職務を補佐する者は、監理技術者がその職務を行なうべきものに係る基礎的な知識及び能力を有すると認められる者とされており具体的には以下のいずれかの者となります。
・建設工事の種類に応じた一級技士補であつて、主任技術者要件を満たす者
・建設工事の種類に応じた監理技術者要件を満たす者

- ※ [主任技術者、専門技術者、登録基幹技能者の記入要領]
1. 主任技術者の配属状況について [専任・非専任]のいずれかに○印を付すこと。
2. 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。
3. 登録基幹技能者が複数いる場合は、適宜欄を設けて全員を記載する。
4. 主任技術者の資格内容(該当するものを選んで記載する。)
①経験年数による場合
1) 大学卒 [指定学科] 3年以上の実務経験
2) 高校卒 [指定学科] 5年以上の実務経験
3) その他 10年以上の実務経験
②資格等による場合
1) 建設業法「技術検定」
2) 建築士法「建築士試験」
3) 技術士法「技術士試験」
4) 電気工事士法「電気工事士試験」
5) 電気事業法「電気主任技術者国家試験等」
6) 消防法「消防設備士試験」
7) 職業能力開発促進法「技能検定」

作業員名簿

(令和 3年 4月 1日作成)

	統括責任者	副又は主任	担当者
承認印	○	○	○
	R3年4月1日	R3年4月1日	R3年4月1日

事業所の名称 ○○港整備工事 作業所
 現場ID ○○△△××□□△×□○○

下記作業員の社会保険等の加入状況を確認しました。

本書面に記載した内容は、作業員名簿として、安全衛生管理や労働災害発生時の緊急連絡・対応のために元請負業者に提示することについて、記載者本人は同意しています。また、作業員の社会保険等の記載内容については、相違ありません。

統括安全衛生責任者 夏川 二郎 殿

会社名(一次) 大山建設 株式会社
 事業者ID ID: 987654321987654 印

雇用業者名 株式会社 山田工務店
 事業者ID ID: 123456789123456 印

番号	ふりがな 氏名 技能者ID	職種	雇用年月日 経験年数	生年月日 年 令	現住所 (TEL) 緊急時家族連絡先(TEL)	最近の健康診断日 血 圧 血液型	特殊健康 診断日 種 類	健康保険		雇入教育 職長教育	資格・免許			入場年月日 新規入場者 教育実施日
								年金保険 雇用保険	健康保険 厚生年金		特別教育	技能講習	免 許	
1	まじま けんじ 間島 健児 66665555666555	施工管理	S56年6月10日 39年	S36年4月20日 59歳	大阪府○○市□□町1-△ (TEL 03-5555-××××) 栃木県塩谷郡藤原町滝××× (TEL 01-2222-××××)	R2年8月10日 116~79 A	年月日 健 年 雇	協会けんぽ 厚生年金 ×××-×	雇入時教育 職長教育		玉掛 無し	無し	年月日 年月日	
2	あきた いちろう 秋田 一郎 98748451569485	型枠大工	S54年9月15日 41年	S27年3月20日 61歳	大阪府○○市□□郡○○-△ (TEL 01-2233-××××) 奈良県××市○○郡××× (TEL 02-6666-××××)	R2年8月10日 156~90 0	年月日 健 年 雇	協会けんぽ 厚生年金 ×××-×	雇入時教育 建設用リフト		型枠支保工の 組立等作業 主任者	無し	年月日 年月日	
3	ふくしま しろう 福島 四郎 15365498021650	型枠大工	S60年9月15日 35年	S34年6月8日 61歳	兵庫県○○市□□8-△△-×× (TEL 06-××××-3311) 兵庫県○○市□□4-△△△-×× (TEL 04-△△△-2211)	R2年8月10日 125~80 B	年月日 健 年 雇	協会けんぽ 厚生年金 ×××-×	雇入時教育 建設用リフト		型枠支保工の 組立等作業 主任者	無し	年月日 年月日	
4	しゅう はくざん 周 伯山 215784692510326	型枠大工			大阪府○○市××-○○-□□ (TEL 05-○○○-4455) 大阪府○○市△△-○-×× (TEL 05-□□○○-2021)	R2年8月10日 115~70 AB	年月日 健 年 雇	協会けんぽ 厚生年金 ×××-×	雇入時教育				年月日 年月日	
5	いわて じろう 岩手 二郎 57849863515489	OP	H12年9月15日 39年	S39年12月7日 77歳	大阪府○○市□□郡△△町××× (TEL 07-△△△△-8811) 大阪府○○市△△町××× (TEL 07-△△△△-5566)	R2年8月10日 120~73 0	年月日 健 年 雇	協会けんぽ 厚生年金 ×××-×	雇入時教育		無し	クレーン 運転士	年月日 年月日	
6	やまがた しんいち 山形 信一 95846351876548	型枠大工	R2年4月1日 0年	17歳	大阪府○○市□□区△△-○-○○ (TEL 04-□□○○-9911) 大阪府○○市△△-○-×× (TEL 05-□□○○-2021)	R2年8月10日 105~80 0	年月日 健 年 雇	協会けんぽ 厚生年金 ×××-×	雇入時教育		無し	無し	年月日 年月日	
7	ぐえん・ふい・はん グエン・フィ・ハン 49865378451681	型枠大工	R2年4月1日 0年	17歳	大阪府○○市××-○○-□□	R2年8月10日	年月日 健 年 雇	協会けんぽ 厚生年金 ×××-×	雇入時教育		無し	無し	年月日 年月日	
8	以下略												年月日 年月日	

外国人就労者については「外国人建設就労者等現場入場届出書」を別途添付

外国人技能実習生については「外国人技能実習生建設現場入場許可申請書」を別途添付

「作業員名簿」の目的・主旨

- ・工事開始から竣工までの間、工程に応じた作業員の入退場の際に、作業員の現状を常時把握するために「作業員名簿」を作成して整理しておくことが必要となる。
- ・「作業員名簿」は特定された法的な規定はないが、災害発生時の緊急連絡先や作業員の健康状態及び教育・資格・免許等の把握等、関係請負人の確認事項であり、リスク管理上必要な書類である。
- ・元方事業者は作業員の安全衛生に係る教育・資格・免許取得状況を把握するよう、関係請負人に指導し、事前にこれらの事項を通知させ、これを把握しておくことが必要である。

・年少者(18歳未満)を使用する場合は、元請業者の作業所長は「年齢証明書」を確認する

・その場合においても、年少者労働基準規則等により、時間外労働は制限され、危険有害業務への就労は禁止されている。

・年齢証明書は「住民票記載事項証明書」で充足できる。

【15歳未満】
 満15歳に達した日以降最初の3月31日が終了するまで、土木、建築その他工作物の建設等又はその準備の事業に就労する事は禁止されている。

・一般健康診断には、雇入時の健康診断と定期健康診断があり、労働安全衛生法第66条(安衛則第43条~第45条)に規定されている。

・特定の有害業務(安衛法施工令第22条の業務)に従事する作業員に対し、雇入時、配置替え時及び定期的に特別項目の健康診断を実施しなければならない。

・定期健康診断は終業後1年以内毎に1回受診とし、有害業務従事者は6カ月以内毎に1回受診しなければならない。

・健康診断の法定実施期限が過ぎないように管理する事

・元方事業者は健康状態を確認し、必要な指導を行う。所見有の場合は治療、配置替え等行う。

・健康診断に関する秘密の保持(労働安全衛生法第104条)実施に関して知り得た労働者の心身の欠陥その他の秘密を漏らしてはならない。

○平成17年4月1日施工「個人情報の保護に関する法律」に基づき、作業員の健康情報(健康診断の結果、病歴、その他の健康に関する情報)については適正に取り扱う事

《社会保険関係(健康保険等)の適用除外》と記載する場合は、健康保険、厚生年金保険、雇用保険の適用除外である場合は「適用除外」と記載。

- 健康保険には、健康保険法第15条第1項第2号に規定する「適用除外」と記載。
- 年金保険欄には、年金法第14条第1項第2号に規定する「適用除外」と記載。
- 雇用保険欄には被保険者番号の下4ケタを記載。(日雇労働被保険者の場合には「日雇保険」と追記)事業主である等により雇用保険の適用除外である場合には「適用除外」と記載。

作業員名簿

(令和 3年 4月 1日作成)

承認印	統括責任者	副又は主任	担当者
	○	○	○
	R3年4月1日	R3年4月1日	R3年4月1日

原則として、協力会社ごとに作成する

○○港整備工事 作業所
○○△△××□□△△××□□

事業所の名称
現場ID

下記作業員の社会保険等の加入状況を確認しました。

本書面に記載した内容は、作業員名簿として、安全衛生管理や労働災害発生時の緊急連絡・対応のために元請負業者に提示することについて、記載者本人は同意しています。また、作業員の社会保険等の記載内容については、相違ありません。

統括安全衛生責任者 夏川 二郎 殿

会社名 (一次) 大山建設 株式会社
事業者ID ID : 987654321987654 印

雇用業者名 大山建設 株式会社
事業者ID ID : 987654321987654 印

番号	ふりがな 氏名 技能者ID	職種	雇用年月日 経験年数	生年月日 年 令	現住所 (TEL) 緊急時家族連絡先 (TEL)	最近の健康診断日 血 圧 血液型	特殊健康 診断日 種 類	健康保険		雇入教育 職長教育	資格・免許		入場年月日 見入場者 育実施日
								年金保険 雇用保険	健康保険 年金保険 雇用保険		特別教育	一級土木施 工管理技士 コンクリ ート技士 一級土木施 工管理技士 車両系 建設機械	
1	なかじま あきら 中島 明 68458165948572	施工 監理	H6年4月10日 26年	S47年10月9日 48歳	大阪府○○市△△区□□町××-○-△△ (TEL 01-7997-××××) 奈良県□□市△△町××-○○-6 (TEL 00-××××-4665)	R2年8月10日 135~90 A	年 月 日	健 年 雇	協会けんぽ 厚生年金 ×××-×	雇入時教育 職長教育	フルハーネス 玉掛 型枠支保工	一級土木施 工管理技士 コンクリ ート技士	年 月 日 年 月 日
2	おおさわ つねお 大沢 常男 48521973085150	施工 管理	H10年4月1日 22年	S55年3月4日 40歳	大阪府△△市○○町□□□-○○ (TEL 01-66○○-××77) 大阪府□□市△△郡○○-○-×× (TEL 02-4565-○○△△)	R2年8月10日 142~89 0	年 月 日	健 年 雇	協会けんぽ 厚生年金 ×××-×	雇入時教育	フルハーネス	一級土木施 工管理技士 車両系 建設機械	年 月 日 年 月 日
3	以下略 初回の名簿等提出後、新たに入場する作業員については逐次追加する。						年 月 日	健 年 雇					年 月 日 年 月 日
4													年 月 日 年 月 日
5													年 月 日 年 月 日
6													年 月 日 年 月 日
7								年 雇					年 月 日 年 月 日
8						年 月 日 ~	年 月 日	健 年 雇					年 月 日 年 月 日

受け入れ教育(新規入場時教育)を実施したときに記入する。

・各作業主任者の選任あたっては施工する工事の内容を十分勘案して、技能講習修了者(一部免許あり)の中から選任する事。

「作業員名簿」の目的・主旨

- ・工事開始から竣工までの間、工程に応じた作業員の入退場の際に、作業員の現状を常時把握するために「作業員名簿」を作成して整理しておくことが必要となる。
- ・「作業員名簿」は特定された法的な規定はないが、災害発生時の緊急連絡先や作業員の健康状態及び教育・資格・免許等の把握等、関係請負人の確認事項であり、リスク管理上必要な書類である。
- ・元方事業者は作業員の安全衛生に係る教育・資格・免許取得状況を把握するよう、関係請負人に指導し、事前にこれらの事項を通知させ、これを把握しておくことが必要である。

- ・一般健康診断には、雇入時の健康診断と定期健康診断があり、労働安全衛生法第66条(安衛則第43条~第45条)に規定されている。
- ・特定の有害業務(安衛法施工令第22条の業務)に従事する作業員に対し、雇入時、配置変え時及び定期に特別項目の健康診断を実施しなければならない。
- ・定期健康診断は終業後1年以内毎に1回受診とし、有害業務従事者は6カ月以内毎に1回受診しなければならない。
- ・健康診断の法定実施期限が過ぎないように管理する事
- ・元方事業者は健康状態を確認し、必要な指導を行う。所見有の場合は治療、配置変え等行う。
- ・健康診断に関する秘密の保持(労働安全衛生法第104条)実施に関して知り得た労働者の心身の欠陥その他の秘密を漏らしてはならない。
- 平成17年4月1日施工「個人情報の保護に関する法律」に基づき、作業員の健康情報(健康診断の結果、病歴、その他の健康に関する情報)については適正に取り扱う事

《社会保険関係(健康保険、年金保険、雇用保険)の記入例》

1. 健康保険には、健康保険の名称(健康保険組合、協会けんぽ、建設国保、国民健康保険)を記載。左記の保険に加入しておらず、後期高齢者である等により、国民健康保険の適用除外である場合には、「適用除外」と記載。
2. 年金保険欄には、年金保険の名称(厚生年金、国民年金等)を記載。各年金の受給者である場合は、「受給者」と記載。
3. 雇用保険欄には被保険者番号の下4ケタを記載。(日雇労働被保険者の場合には「日雇保険」と追記)事業主である等により雇用保険の適用除外である場合には「適用除外」と記載。

資 格 証 写 し

氏 名 岩 手 二 郎

職 種 型 枠 大 工

会 社 名 大 山 建 設 株 式 会 社
(一 次)

会 社 名 株 式 会 社 山 田 工 務 店
(雇 用 会 社)

資 格 名 称	免 許 証 ・ 技 能 番 号	取 得 年 月 日	S ・ H ・ R	年 月 日
---------	-----------------	-----------	-----------	-------

各免許・技能講習修了証は、1枚に1資格張り付けとする。

年少者就労報告書

令和3年4月1日

〇〇〇港整備工事

作業所

統括安全衛生責任者

夏川 二郎

殿

会社名

株式会社 山田工務店

所在地

大阪府××市△△町
□□-〇〇-△△

代表者氏名

山田 二郎

印

貴作業所の工事を施工するにあたり、年少者就労制限を遵守し、安全衛生責任者（職長）の監督のもとに就労させますので報告します。

記

氏名	生年月日	年齢	職種作業内容
山形 信一	平成15年9月3日	17	型枠大工

※次の書類の写しを同時に添付します。

1. 年齢証明書（戸籍証明書・運転免許証等）

不法就労外国人等を雇用しない誓約書

令和3年4月1日

〇〇〇港整備工事 作業所

統括安全衛生責任者

夏川 二郎 殿

所在地 大阪府××市△△町□□-〇〇-△△

会社名 株式会社 山田工務店

代表者名 山田 二郎 印

今般ご発注いただきました工事施工にあたり、当社及び関係請負人は入官法に違反して不法に就労する外国人を雇用していないことを誓約いたします。

統括責任者	副又は主任	担当者
○	○	○

令和3年4月1日

〇〇〇港整備工事 作業所
夏川 二郎 所長 殿

1次会社名 大山建設 株式会社
代表者氏名 大山 一郎 印
受入企業名 株式会社 山田工務店
代表者氏名 山田 二郎 印

外国人建設就労者等現場入場届出書

外国人建設就労者等の建設現場への入場について下記のとおり届出ます。

1. 建設工事に関する事項

建設工事の名称	〇〇〇港△△護岸整備工事(その2)
施工場所	大阪府××市△△町□□-〇〇-△△

2. 建設現場への入場を届け出る外国人建設就労者等に関する事項

※ 4名以上の入場を申請する場合、必要に応じて欄の追加や別紙とする等対応すること。

	外国人建設就労者 1	外国人建設就労者 2	外国人建設就労者 3
氏名	周 伯山		
生年月日	1992. 4. 28		
性別	男		
国籍	中国		
従事させる業務	基礎型枠工事(型枠工事作業)		
現場入場の期間	2021. 4. 11～2021. 8. 30		
在留資格 ※いずれかをチェック	<input checked="" type="checkbox"/> 外国人建設就労者 <input type="checkbox"/> 建設特定技能	<input type="checkbox"/> 外国人建設就労者 <input type="checkbox"/> 建設特定技能	<input type="checkbox"/> 外国人建設就労者 <input type="checkbox"/> 建設特定技能
在留期間満了日	2022. 5. 5		
CCUS登録情報が最新であること の確認 ※登録義務のある者のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 確認済 (確認日: 2021. 3. 29)	<input type="checkbox"/> 確認済 (確認日:)	<input type="checkbox"/> 確認済 (確認日:)

3. 受入企業・建設特定技能受入計画及び適正監理計画に関する事項

就労場所	関西地方
従事させる業務の内容	型枠工事作業
従事させる期間(計画期間)	2021. 4. 11～2021. 8. 30
責任者(連絡窓口)	役職 課長 氏名 伊藤 三郎 連絡先 ××-×××

※就労場所・従事させる業務の内容・従事させる期間については、建設特定技能受入計画及び適正監理計画の記載内容を正確に転記すること

○添付書類

提出にあたっては下記に該当するものの写し各1部を添付すること

- 建設特定技能受入計画認定証又は適正監理計画認定証
(複数ある場合にはすべて。建設特定技能受入計画認定証については別紙「建設特定技能受入計画に関する事項」も含む)
- パスポート(国籍、氏名等と在留許可のある部分)
- 在留カード
- 受け入れ建設企業と外国人建設就労者との間の雇用条件書
- 建設キャリアアップシステムカード(登録義務のある者のみ)

統括責任者	副又は主任	担当者
○	○	○

〇〇〇港整備工事 事業所
夏川 二郎 所長 殿

作成日 令和3年4月1日

一次会社 大山建設 株式会社
代表者氏名 大山 一郎 (印)
雇用企業名 株式会社 山田工務店
代表者氏名 山田 二郎 (印)

外国人技能実習生
外国人技能実習生 建設現場入場許可申請書

外国人技能実習生の建設現場への入場について下記のとおり申請致します

1. 建設工事に関する事項

建設工事の名称	〇〇〇港△△護岸整備工事(その2)
施工場所	大阪府××市△△町□□-〇〇-△△

2. 建設現場への入場を届け出る外国人技能実習生に関する事項

※ 4名以上の入場を申請する場合、必要に応じて欄の追加や別紙とする等対応すること

	外国人技能実習生 1	外国人技能実習生 2	外国人技能実習生 3
氏名	グエン・フィン・ハン		
生年月日	1996. 12. 2		
性別	男		
国籍	ベトナム		
従事させる業務	基礎型枠工事(型枠工事作業)		
現場入場の期間	2021. 4. 11～ 2021. 8. 30		
在留資格	技能実習一号口		
在留期間満了日	2022. 5. 30		
CCUS登録情報が最新であることの確認 ※登録義務のある者のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 確認済 (確認日: 2021. 3. 29)	<input type="checkbox"/> 確認済 (確認日:)	<input type="checkbox"/> 確認済 (確認日:)

3. 実習実施者・監理団体に関する事項

実習実施者の所在地	〇〇県〇〇市〇〇町△△-△△-△△
元請企業との関係 (直近上位の企業名その他)	(元請)ヤマト工業株式会社→(一次)大山建設株式会社→(二次)株式会社山田工務店
技能実習責任者	役職 代表取締役社長 氏名 山田 二郎
技能実習指導員	役職 職長 氏名 間島 健児
従事させる業務の内容	基礎型枠工事
監理団体の名称	(一般・特定)
監理団体の所在地	××県〇〇市〇〇町△△-△△-□□

※ 添付書類 (提出にあたっては下記に該当するものの写し各1部を添付すること)

- 【技能実習計画認定通知書】と【技能実習計画】
- パスポート (国籍、氏名等と在留許可のある部分)
- 在留カード
- 受入建設企業と外国人技能実習生との間の雇用契約書及び雇用条件書 (労働条件通知書)
- 保険契約書 (JITCO外国技能人実習生総合保険等、民間の傷害保険契約も可)
- 建設キャリアアップシステムカード(登録義務のある者)

統括責任者	副又は主任	担当者
○	○	○

〇〇〇港整備工事 作業所

統括安全衛生責任者

夏川 二郎 殿

会社名 大山建設 株式会社

代表者名 大山 一郎 (印)

作業所安全衛生管理計画

作成年月日 令和 2 年 12 月 3 日

工事名称	〇〇〇港△△護岸整備工事(その6)
予定工期	R〇 年 〇 月 〇 日 ~ R〇 年 〇 月 〇 日
工事内容	〇〇〇港△△護岸整備工事(その6)に係る護岸築造及び消波ブロック設置 (作業所移動人員 6 人/日)

店社安全パトロール実施計画 有 (1月 2回) ・ 無

【店社安全管理体制】

● 代表者
総括安全衛生管理者

大山 一郎

工事担当責任者

安全衛生推進者

役職	工事部長	氏名	日野 仁司
----	------	----	-------

役職	安全部長	氏名	木村 俊成
----	------	----	-------

工事責任者

安全担当者

役職	工事主任	氏名	中島 明
----	------	----	------

役職	工事主任	氏名	大沢 常男
----	------	----	-------

作成予定の作業手順書

手 順 書 名 称	提 出 予 定 年 月 日
型枠組立・解体	着手までに
コンクリート打設	着手までに
鉄筋加工	着手までに
鉄筋組立	着手までに

安全衛生教育の計画（雇入教育・職長教育・資格取得等）

実 施 時 期	教 育 内 容
雇入教育	雇入時
新規入場者教育	新規入場時
資格取得	随時

健康診断の計画

雇 入 時 健 康 診 断	随時
定 期 健 康 診 断	随時
特 殊 健 康 診 断 ()	年 月 日
特 殊 健 康 診 断 ()	年 月 日
特 殊 健 康 診 断 ()	年 月 日

重点的に実施しようとする活動（実施事項・実施時期等）

令和 3年4月1日

持込機械等 (電動工具等) 使用届

作業所の名称 〇〇〇港整備工事業所 持込会社名 株式会社 山田工務店

統括安全 衛生責任者 夏川 二郎 殿 現場代理人 (現場責任者) 間島 健児 (印)

このたび、下記機械等を右の点検表により、点検整備のうえ持込・使用しますので、お届けします。なお、使用に際しては、関係法令に定められた事項を遵守します。

記

番号	機械名	規格性能	管理番号 (整理番号)	点検者	持込年月日	使用期間 年 月 日	取扱者
1	電動丸のこ	100V×450W	1	秋田 一郎	2021.4.13	2021.4.13～ . .	秋田 一郎
2	アーク溶接機	200V×7.5kw	2	岩手 二郎	2021.4.13	2021.4.13～ . .	福島 四郎
3	コンプレッサー	200V×3.7kw	4	秋田 一郎	2021.4.13	2021.4.13～ . .	秋田 一郎
4	水中ポンプ	100V×400W	5	山形 信一	2021.4.13	2021.4.13～ . .	山形 信一
5	鉄筋曲げ機	～22mm	6	福島 四郎	2021.4.18	2021.4.18～ . .	岩手 二郎
6	鉄筋カッター	～22mm	8	山形 信一	2021.4.18	2021.4.18～ . .	秋田 一郎
7							
8							
機械等の特性・その他 その使用上注意すべき 事項							

上記の持込機械等使用届を受理します。

番号	1	2	3	4
受理 No.	安全 1	安全 2	安全 3	安全 4
受理確認欄	2021.4.13	2021.4.13	2021.4.13	2021.4.13
番号	5	6	7	8
受理 No.	安全 5	安全 6		
受理確認欄	2021.4.18	2021.4.18		

統括責任者	副又は主任	担当者
○	○	○

持込時の点検表		点検 令和3年4月1日							
電動工具・電気溶接機等									
点検事項	番号	1	2	3	4	5	6	7	8
アース線		○	○	○	○	○	○		
接地クランプ			○						
キャブタイヤ		○	○	○	○	○	○		
コネクタ		○		○		○			
接続端子の締結		○	○	○	○	○	○		
充電部の絶縁		○	○	○	○	○	○		
自動電撃防止装置			○						
絶縁ホルダー			○						
溶接保護面			○						
操作スイッチ		○	○	○	○				
絶縁抵抗測定値		100	20	50	100	100	50		
各種ブレーキの作動				○					
手摺り・囲い									
フックの外れ止め				○					
ワイヤロープ・チェーン				○					
滑車				○					
回転部の囲い等		○		○			○		
危険表示									
そ の 他									
圧力スイッチ					○				
安全弁					○				
圧力計					○				

- 機 械 名
- ①電動カンナ
 - ②電動ドリル
 - ③電動丸ノコ
 - ④グラインダー等
 - ⑤アーク溶接機
 - ⑥ウインチ
 - ⑦発電機
 - ⑧トランス
 - ⑨コンプレッサー
 - ⑩送風機
 - ⑪ポンプ類
 - ⑫ミキサー類
 - ⑬コンベヤー
 - ⑭吹付機
 - ⑮ボーリングマシン
 - ⑯振動コンパクター
 - ⑰バイブレーター
 - ⑱鉄筋加工機
 - ⑳電動チェーンブロック
 - ㉑その他

備考

- 持込機械等の届出は、当該機械を持ち込む会社（貸与を受けた会社が下請の場合はその会社）の代表者が所長に届け出ること。
- 点検表の点検結果欄には、当該する箇所へV印を記入すること。
- 絶縁抵抗測定値については、実測値（MΩ）を記入する。

持込機械等（移動式クレーン等）使用届

(車両系建設機械)

作業所の名称 〇〇〇港整備工事業所 一次会社名 大山建設 株式会社
 衛生責任者 夏川 二郎 殿 持込会社名 株式会社 山田工務店
 (2 次) 代表者名 山田 二郎 印

このたび、下記機械等を裏面の点検表により、点検整備のうえ持ち込み・使用しますので、お届けします。なお、使用に際しては

公認性能を記入、例えば車両系建設機械の場合、機械重量、バケット容量等を記入

使用会社の現場代理人でもよい

使用会社名				代表者名			
株式会社 山田工務店				間島 健児 印			
機 械	名 称	メ ー カ ー	規 格 ・ 性 能		製 造 年	管理番号 (整理番号)	
	ドラッグ ショベル	港区機械(株)	機体重量 5トン バケット容量 0.22m ³		H28年	101	
持込年月日	R3年4月15日		使用場所	地山掘削作業に伴う 土止め支保工現場	自社・リースの区別		
搬出予定年月日	月	日			自社	・	リース
運 転 者 (取 扱 者)	氏 名		作業に必要な免許資格等を記載				
	(正)	岩手 二郎	車両系建設機械(整地等)運転技能講習(3t以上) 移動式クレーンの免許等				
	(副)	山田 四郎	車両系建設機械(整地等)運転技能講習(3t以上) 移動式クレーンの免許等				
自 有 主 効 検 期 査 限	定 期	年次	移動式クレーン 等の性能検査 有 効 期 限	年 月 日	自 動 車 検 査 証 有 効 期 間	年 月 日	
		月次					
	特 定						
	R2年10月31日						
		R3年3月30日					
		R3年9月18日					
任 意 保 険	車両保険やその他の保険を記入		100,000 千円	搭乗者	10,000 千円	有 効 期 限	
	加入額		3,000 千円	その他	車両5,000 千円	R3年 8 月 1 日	
機械等の特性・その他 その使用上注意すべき事項 <small>〔機械所有会社に対するメッセージ(機械所有会社記入)〕</small> ・荷の吊り上げの作業について一定の合図を定めるとともに、合図を行う者を指名して、その者に合図を行うようにしてください。 ・吊り上げた荷と接触又は吊り上げた荷の落下により労働者に危険が生じる恐れがある箇所に労働者を立ち入らせないように安全措置を講じて下さい。 ・車両系建設機械の構造及び材料に応じて定められた負荷をさせることのできる最大の荷重をかけて作業を行わないでください。							
統括責任者	副又は主任	担当者	受 理 番 号		受 理 証 確 認 者		
機械の貸与会社が、安全作業上注意すべき事項を記入			〇〇-△△		R2年 4 月 15 日	〇	

持込時の点検表

所有会社名				代表者名										
(株)山田工務店				間島 健児 印										
移動式クレーン等				車両系建設機械等										
1	1		点検事項	点検結果										
	(a)	(b)		(a)	(b)									
A クレーン部 (上部旋回体)	安全装置	巻過防止装置			D 安全装置	旋回	○							
		過負荷防止装置				各種	バケット	○						
		フックのはずれ止め				ロック	ブーム・アーム	○						
		起伏制御装置												
		旋回警報装置												
	制御装置・作業装置	主巻・補巻				E 作業装置	警報装置	○						
		起伏・旋回					アウトリガ							
		クラッチ					ヘッドガード	○						
		ブレーキ・ロック					照明	○						
		ジブ					操作装置	○						
	その他	滑車				F 走行部	バケット・ブレード	○						
		フック・バケット					ブーム・アーム	○						
		ワイヤーロープ・チェーン					ジブ	○						
		玉掛用具					リーダ							
		操作装置					ハンマ・オーガ・パイプロ							
B 車両部 (下部走行体)	走行部	性能表示			G 電気装置	油圧駆動装置	○							
		照明				ワイヤーロープ・チェーン								
		ブレーキ				つり具等	○							
		クラッチ				滑車								
		ハンドル				ブレーキ	○							
	安全装置等	タイヤ				H その他	駐車ブレーキ							
		クローラ					ブレーキロック							
		警報装置					クラッチ							
		各種ミラー					操縦装置							
		方向指示器					タイヤ・鉄輪							
C ゴンドラ	前後照灯			点検日	R3.4.11	点検者	岩手 二郎							
	左折プロテクター				(b)			年 月 日	点検者	印				
	アウトリガ										配電盤	○		
	昇降装置											配線		
	ベッセル													絶縁
後方監視装置			アース	○										
突りょう														
作業床														
昇降装置														
電気装置														
ワイヤー・ライフライン														

機 械 名

1. クレーン
2. 移動式クレーン
3. デリック
4. エレベーター
5. 建設用リフト
6. 高所作業車
7. ゴンドラ
8. ブル・ドーザー
9. モーター・グレーダー
10. トラクターショベル
11. ずり積機
12. スクレーパー
13. スクレープ・ドーザー
14. パワー・ショベル
15. ドラグ・ショベル
(油圧ショベル)
16. ドラグライン
17. クラムシェル
18. バケット掘削機
19. トレンチャー
20. コンクリート圧
21. くい打機
22. くい抜機
23. アース・ドリル
24. リバース・サーキュレーション・ドリル
25. せん孔機
26. アース・オーガ
27. ペーパー・ドレン・マシーン
28. 地下連続壁施工機械
29. ローラー
30. クローラードリル
31. ドリルジャンボ
32. ロードヘッダー
33. アスファルトフィニッシャー
34. スタビライザ
35. ロードプレーナ
36. ロードカッター
37. コンクリート吹付機
38. ボーリングマシーン
39. 重ダンプトラック
40. ダンプトラック
41. ドラッグミキサー
42. 散水車
43. 不整地運搬車
44. コンクリート運搬車
45. その他

- (注) 1. 持込機械等の届出は、当該機械を持込む会社(貸与を受けた会社が下請の場合はその会社)の代表者が所長に届け出ること。
2. 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へレ印を記入すること。
3. 自社の点検表にて点検したものは、その点検表を貼付する。
(転記の必要はなし)。
4. 機械名1. から6. まではA、B欄を、7. はC欄を、8. から38. まではD、E、F、G欄を、39. から43. まではB欄を、44. はB、D、E欄を使用して点検すること。
5. 点検結果の(a)は、機械所有会社の確認欄とし、(b)は、持込会社又は機械使用会社の確認欄とする。元請が確認するときは、(b)の欄を利用すること。

持込機械等 (移動式クレーン 等) 使用届

車両系建設機械

作業所の名称 〇〇〇港整備工事業所 一次会社名 大山建設 株式会社
 衛生責任者 夏川 二郎 殿 持込会社名 株式会社 山田工務店
 (2 次) 代表者名 山田 二郎 印

このたび、下記機械等を裏面の点検表により、点検整備のうえ持ち込み・使用しますので、お届けします。なお、使用に際しては

使用会社名				代表者名			
株式会社 山田工務店				間島 健児 印			
機械の呼称名を記入		称	メーカー	規格	性能	製造年	管理番号 (整理番号)
機 械		移動式クレーン	中央重機(株)	25トン×10m		H 28	110
持込年月日		令和 3 年 4 月 20 日		使用場所	型枠組立に伴う資機材吊り上げ	自社・リースの区別	
搬出予定年月日		月	日			自社	・
運 転 者 (取 扱 者)		氏 名		大型一種、移動式クレーン免許		当該作業に必要な免許資格等を記入、書ききれないときは次の欄を	
		(正) 品川 五郎					
		(副) 大崎 六郎					
自有主効検査限	定 期	年次	令和3年 10月 10日	移動式クレーン等の性能検査有効期限	R3年12月1日	自動車検査証	R3年12月1日
		月次	令和3年 3月 11日				
	特 定	年 月					
任 意 保 険		加入額	100,000 千円	搭乗者	10,000 千円	有 効 期 限	
			3,000 千円	その他	車両5000 千円	R3年12月1日	
機械等の特性・その他		【 機械貸与会社から使用会社に対するメッセージ(機械貸与会社が記入) 】					
その使用上注意すべき事項		<ul style="list-style-type: none"> ・アウトリガーは完全張出し、ピンを入れて下さい。 ・吊荷の荷重を計測する場合は、エンジンをふかさず、ゆっくり巻き上げメーターを読んでください。 ・吊り上げる反対の方向で操作してください。(ユニック車の場合) ・安全装置解除キーは作業所長に預けて下さい。 					
統括責任者		副又は主任	担当者	受 理 番 号		受 理 証 確 認 者	
○		○		〇〇-□□		R2年 4 月 1 日 ○	
機械の貸与会社が、安全作業上注意すべき事項を記入							

持込時の点検表

所有会社名				代表者名					
(株)山田工務店				間島 健児 印					
移動式クレーン等				車両系建設機械等					
1	1		点検事項	点検結果					
	(a)	(b)		(a)	(b)				
A クレーン部 (上部旋回体)	安全装置	巻過防止装置	○		D 安全装置	旋回			
		過負荷防止装置	○			各種	バケット		
		フックのはずれ止め	○			ロック	ブーム・アーム		
		起伏制御装置	○						
		旋回警報装置	○						
	制御装置・作業装置	主巻・補巻	○			E 作業装置	警報装置		
		起伏・旋回	○				アウトリガ		
		クラッチ	○				ヘッドガード		
		ブレーキ・ロック	○				照明		
		ジブ	○				操作装置		
	その他	滑車	○			バケット・ブレード			
		フック・バケット	○			ブーム・アーム			
		ワイヤーロープ・チェーン	○			ジブ			
		玉掛用具	○			リーダ			
B 車両部 (下部走行体)	走行部	操作装置	○		F 走行部	ハンマ・オーガ・パイプロ			
		性能表示	○			油圧駆動装置			
		照明	○			ワイヤーロープ・チェーン			
		ブレーキ	○			つり具等			
	安全装置等	クラッチ	○			滑車			
		ハンドル	○			ブレーキ			
		タイヤ				駐車ブレーキ			
		クローラ	○			ブレーキロック			
		警報装置	○			クラッチ			
		各種ミラー	○			操縦装置			
C ゴンドラ	安全装置等	方向指示器	○		G 電気装置	タイヤ・鉄輪			
		前後照灯	○			クローラ			
		左折プロテクター				H その他	配電盤		
		アウトリガ					配線		
		昇降装置	○				絶縁		
		ベッセル	○				アース		
後方監視装置	○								
突りょう									
(a)	点検日	R3. 3. 11	点検者	秋田 一郎	(b)	年 月 日	点検者	印	

機 械 名

1. クレーン
2. 移動式クレーン
3. デリック
4. エレベーター
5. 建設用リフト
6. 高所作業車
7. ゴンドラ
8. ブル・ドーザー
9. モーター・グレーダー
10. トラクターショベル
11. ずり積機
12. スクレーパー
13. スクレープ・ドーザー
14. パワー・ショベル
15. ドラグ・ショベル
(油圧ショベル)
16. ドラグライン
17. クラムシェル
18. バケット掘削機
19. トレンチャー
20. コンクリート圧
21. くい打機
22. くい抜機
23. アース・ドリル
24. リバース・サーキュ
レーション・ドリル
25. せん孔機
26. アース・オーガ
27. ペーパー・ドレン・
マシーン
28. 地下連続壁施工機械
29. ローラー
30. クローラードリル
31. ドリルジャンボ
32. ロードヘッダー
33. アスファルトフィニッシャー
34. スタビライザ
35. ロードプレーナ
36. ロードカッター
37. コンクリート吹付機
38. ボーリングマシーン
39. 重ダンプトラック
40. ダンプトラック
41. ドラッグミキサー
42. 散水車
43. 不整地運搬車
44. コンクリート運搬車
45. その他

- (注) 1. 持込機械等の届出は、当該機械を持込む会社(貸与を受けた会社が下請の場合はその会社)の代表者が所長に届け出ること。
2. 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へレ印を記入すること。
3. 自社の点検表にて点検したものは、その点検表を貼付する。
(転記の必要はなし)。
4. 機械名1. から6. まではA、B欄を、7. はC欄を、8. から38. まではD、E、F、G欄を、
39. から43. まではB欄を、44. はB、D、E欄を使用して点検すること。
5. 点検結果の(a)は、機械所有会社の確認欄とし、(b)は、持込会社又は
機械使用会社の確認欄とする。元請が確認するときは、(b)の欄を利用すること。

作業計画日

★作業実施日

令和 年 月 日 令和 年 月 日
令和 年 月 日 計画変更)

潜水作業計画・記録 (空気潜水用)

回覧印

事業者名	工事件名	前日	潜水作業		天候	風向	検認者		
★潜水士名	元請会社名		最終浮上時刻	時 分	風速	m/s位		波高	m位
職務	作業港・場所	本日	最終繰返潜水記号RG		視界	m位	透明度	m位	責任者名
送気員	船名		業務開始時刻	時 分	潮流	普通・一時的に早い・常時早い		記入者名	
連絡員	潜水・通信方式		業務完了時刻	時 分	水温	暖かい・普通・冷たい		備考欄	

作業内容	①捨石指示 ②本均し ③荒均し ④被覆均し ⑤溶接・溶断 ⑥()据付 ⑦()敷設 ⑧調査・測量 ⑨その他()	計画・・・黒色 (実線 → 当初、点線 → 計画変更時)	高所潜水補正諸元		
就業内容	イ 運転準備・整備 ロ 回航 ハ 潜水準備・解装 ニ 休憩・待機時間 ホ 現場待機 ヘ その他	実施・・・赤色	水面高度(m)	順応時間(時間)	深度補正(m)

時刻	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
船上														
潜水深度 (m)	3													
	6													
	9													
	12													
	15													
	18													
	21													
	24													
	27													
	30													
33														
36														
39														
42														

マルチレベル潜水浮上スケジュール									
回数	適用深度	適用潜水時間	18m	15m	12m	9m	6m	3m	採用
	m	分							
	m	分							
	m	分							
	m	分							

コメント欄									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

記入	回数	適用RG		★待機時間 (SI)	繰返潜水ファクター (RF) (連続潜水)	○深度	○潜水時間				★修正潜水時間 (EBT)	★適用減圧表		繰返潜水グループ記号 (RG)	○浮上時間							潜水業務時間		注意事項等								
		通常	連続				潜降開始	潜降時間	潜水時間	浮上開始		深度	潜水時間		浮上時間	○深度ごとの浮上停止時間						合計	浮上完了		合計	累計						
		①	②				時	分	時	分		時	分			①	②	③	④	⑤	⑥						⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
計画				分		m				分		分			分									分		分	分					
				分		m				分		分			分									分		分	分					
				分		m				分		分			分									分		分	分					
				分		m				分		分			分									分		分	分					
計画変更時				分		m				分		分			分									分		分	分					
				分		m				分		分			分									分		分	分					
				分		m				分		分			分									分		分	分					
				分		m				分		分			分									分		分	分					
実施				分		m				分		分			分									分		分	分					
				分		m				分		分			分									分		分	分					
				分		m				分		分			分									分		分	分					
				分		m				分		分			分									分		分	分					

設備等の点検表		
潜水器		小型船舶操縦士免許
送気管		潜水士免許
さがり綱		送気員教育修了証
圧力調整器		巻上げ機教育修了証
一週 空気圧縮機		国際信号旗A
一月 空気清浄装置		
三月 水中時計		
六月 流量計		
通話装置の感度		
携行物		

○潜降及び浮上の速度は10m/分とする。 注意: ★印は確認すること。○印は厳守すること。

作業計画日

★作業実施日

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

令和 年 月 日 計画変更)

潜水計画・記録 (空気潜水用)

回覧印

事業者名	〇〇工業株式会社	工事件名	〇〇口△△ダム改修工事	潜水作業	有 無	天候	晴れ	風向	北	検認者	ヤマト 一郎	
★潜水士名	安全 一郎	元請会社名	〇〇建設株式会社	前日	最終浮上時刻	時 分	風速	1.5 m/s位	波高	1 m位	責任者名	ヤマト 二郎
-	〇〇設置作業	作業港・場所	〇〇ダム水道専用取水設備	本日	最終繰返潜水記号RG		視界	4000 m位	透明度	3 m位	記入者名	〇〇 太郎
送気員	安全 二郎	船名	船舶の使用無し	業務開始時刻	9 時 0 分	潮流	普通・一時的に早い・常時早い	水温	暖かい 普通 冷たい	備考欄	特に無し	
連絡員	安全 三郎	潜水・通信方式	ヘルメット・フーカークラスパー 有線・無線・未使用	業務完了時刻	16 時 0 分							

作業内容	①捨石指示 ②本均し ③荒均し ④被覆均し ⑤溶接・溶断 ⑥)据付 ⑦()敷設 ⑧調査・測量 ⑨その他(計画・・・黒色 (実線 → 当初、点線 → 計画変更時)	高所潜水補正諸元
就業内容	イ 運転準備・整備 ロ 回航 ハ 潜水準備・解装 ニ 休憩・待機時間 ホ 現場待機 ヘ その他	実施・・・赤色	水面高度(m) 順応時間(時間) 深度補正(m)

時刻	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
船上														
潜水深度 (m)	3													
	6													
	9													
	12													
	15													
	18													
	21													
	24													
	27													
	30													
33														
36														
39														
42														

マルチレベル潜水浮上スケジュール									
回数	適用深度	適用潜水時間	18m	15m	12m	9m	6m	3m	採用
	m	分							
	m	分							
	m	分							
	m	分							

コメント欄

記入	回数	適用RG		★待機時間 (SI)	繰返潜水ファクター (RF) (連続潜水)	○深度	○潜水時間				★修正潜水時間 (EBT)	★適用減圧表		繰返潜水グループ記号 (RG)	○浮上時間						潜水業務時間		注意事項等				
		通常	連続				潜降開始	潜降時間	潜水時間	浮上開始		深度	潜水時間		指定	調整	浮上時間	○深度ごとの浮上停止時間						合計	浮上完了	合計	累計
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	⑮~㉑=	⑨+㉑=	⑧+㉑=	前回㉑+㉒=	
計画	1					15 m	9 30	9 32	75 分	10 45		15 m	75 分	G		2 分							2 分	10 47	77 分	77 分	4.下がり綱を使う事
	2	G		218 分	1.4	15 m	14 25	14 27	47 分	15 12	65.8 分	15 m	75 分	G		2 分							2 分	15 14	47 分	124 分	5.通話装置の使用、鋭利な刃物の携帯
計画変更時						m						m															
						m						m															
						m						m															
						m						m															
実施	1					15 m	9 30	9 34	75 分	10 45		15 m	75 分	G		4 分							4 分	10 49	79 分	79 分	一月 空気清浄装置
	2	G		218 分	1.4	15 m	14 25	14 27	48 分	15 13	67.2 分	15 m	75 分	G		3 分							3 分	15 16	51 分	130 分	三月 水中時計
						m						m															六月 流量計
						m						m															通話装置の感度
																											携行物

○潜降及び浮上の速度は10m/分とする。 注意: ★印は確認すること。○印は厳守すること。

	統括責任者	副又は主任	担当者
承認印	○	○	○
月 日	R3.4.5	R3.4.5	R3.4.5

令和 3 年 4 月 2 日

火 気 使 用 申 請 書

作業所の名称 ○○○港整備工事作業所

統括安全衛生責任者 夏川 二郎 殿

**事業所の名称は作業所名を書き、
所長名は間違いのないようにする**

**作業員を雇用する会社が作成し、
一次の会社を通して提出する**

会社名 株式会社 山田工務店

現場代理人 (現場責任者) 間島 健児 (印)

下記の要領で火気使用いたしたくご許可願います。なお、火気使用の終了時には、必ずその旨ご報告いたします。

記

使用場所	鉄筋組立の内 溶接作業		
使用目的	工事	溶接、溶断、圧接、防水、乾燥	使用期間 R3年4月11日 ~ 月 日
	日常	採暖、湯沸、炊事、その他 ()	使用時間 8時00分 ~17時00分
火気の種類	電気、酸素・アセチレン、プロパンガス、灯油、重油、木炭、薪、その他 ()		
管理方法	消火器、防水用水、消火砂、防災シート、受皿、標識、監視、取扱上の注意 ()		
火元責任者 (後始末巡回者)	秋田 一郎 使用会社の記入欄		
火気使用責任者	間島 健児		

※使用目的、火気の種類、管理方法は該当事項を○で囲んで下さい。

許可第 5 号	(許可年月日)	令和 3 年 4 月 11 日
火気使用許可	防火管理者	夏川 二郎 (印)
	担当係員	谷川 昇二 (印)
許可条件	元請会社記入欄 <ul style="list-style-type: none"> 火花及び切断層は必ず受け皿で受けること。 作業場所には粉末消火器を配置すること。 作業終了後は火がないことを確認すること。 	

元請
確認欄

令和3年4月1日

有機溶剤・特定化学物質等持込使用届

事業所の名称 〇〇〇港整備工事作業所一次会社名 大山建設 株式会社所長名 夏川 二郎 殿使用会社
(2 次) 株式会社 山田工務店現場代理人
(現場責任者) 間島 健児

このたび、火気の有機物質・特定化学物質等を持ち込み・使用するのでお届けします。
なお、使用に際しては、SDS（安全データシート）内容を掲示し、作業員に対して周知
を行うと共に関係法規を遵守します。

使用材料	商品名	メーカー名	搬入量	種別	含有成分
	酸素	〇〇ガス	2250kg/cm ³	酸素ガス	O ₂
	アセチレン	〇〇ガス	35K	溶解アセチレン	C ₂ H ₂
	軽油	△△合同会社	13kl	石油系炭化水素	C ₁₀ ~C ₂₆
	この他に災害又は健康障害の発生しやすい場所は必ず記入する。				
使用場所	現場内				
保管場所	現場内及び現場内詰所	使用機械 又は工具			
使用期間	令和3年4月11日 ~ 令和3年7月10日(予定)				
作業主任者	氏名 作業手順書	秋田 一郎 添付 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)			
S D S	SDS 添付 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)				
換気対策	該当なし				

- (注) 1. 商品名、種別、含有成分等は材料に添付されているラベル成分表等から写し、記入して下さい。
2. 危険物とは、軽油、灯油、プロパン、アセチレンガス、火薬等をいう。
3. 有害物とは、塗装、防水などに使用する有機溶剤、特定化学物質などをいう。

通勤用・工事用車両届

〇〇〇港整備工事作業所 作業所

安全衛生責任者
夏川 二郎 殿

添付書類として、使用車両の車検証のコピー
及び自動車損害賠償責任保険証明書、自動車
保険契約書のコピーを添付すること

一次会社名 大山建設 株式会社

使用会社名 株式会社 山田工務店

現場代理人 (現場責任者) 間島 健児 印

貴作業所の工事を施工するにあたり、下記の通り車両を運行しますのでお届けいたします。

記

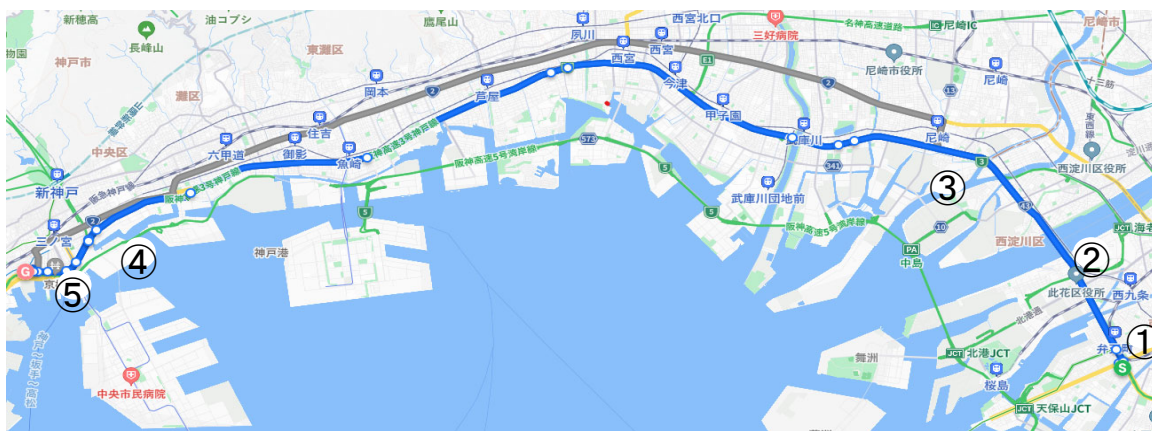
用途 (該当を○で囲む)	通 勤 ・ 工 事 用		
使用期間	自 令和 3 年 4 月 11 日 ~ 至 令和 年 月 日		
所有者氏名	株式会社 山田工務店	安全運転管理者指名	間島 健児
車 両	種類	キャブオーバー	車 期 検 間
	車 両 番 号	〇〇〇 △△△ □ 11-〇〇	自 R 1 年 8 月 10 日 ~ 至 R 3 年 8 月 9 日
運 転 手	駐 車 場 所 (該当を○でかむ)	作 業 場 内 ・ そ の 他	
	氏 名	秋田 一郎	所 属 (雇 用 主)
	住 所	大阪府〇〇市□□郡〇〇-△	
	免 許 の 種 類	普通・大型・け引	免 許 証 番 号
			〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
任 意 保 険	対 人	無制限 万円	対 物
	期 間	無制限 万円	搭 乗 者
			万円
		自 令和 2 年 10 月 31 日 ~ 至 令和 3 年 10 月 31 日	

- (注) 1. この届出書は車両一台ごとに提出すること。
2. この届出書に「自賠責」「任意保険」の証書(写)、「運転免許書」(写)を添付し提出すること。
3. 自家用車・マイクロバス等についても記載すること。
4. 運転者が変わった場合はその都度提出すること。

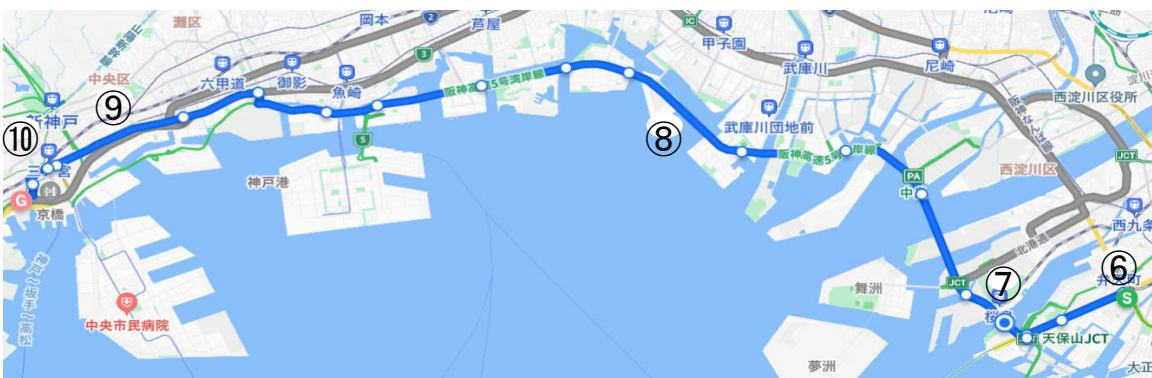
記入例

交通KYマップ

1経路(阪神高速3号神戸線を使うルート)



2経路(阪神高速4号湾岸線を使うルート)



1経路	ヤマト工業本社→市岡交差点右折→市岡元町交差点左折→国道43号線→尼崎西出入口→阪神高速3号神戸線→生田川出口直進→国道2号線→メリケン波止場前右折→ヤマト工業神戸支店	移動距離	30.9 Km
		移動時間	0 時間 42 分
2経路	ヤマト工業本社→みなと通→天保山JCT→阪神高速4号湾岸線→都市高魚崎浜→港湾幹線道路→第4突堤直進→京橋交差点左折→国道2号線→メリケン波止場前右折→ヤマト工業神戸支店	移動距離	30.7 Km
		移動時間	0 時間 46 分

危険箇所(1経路)

- ① 本社出庫時、左右確認。
- ② 国道43号線走行時、速度に注意(制限速度40km)し、混雑することが多いため玉突き事故に注意。
- ③ 阪神高速3号神戸線合流時、周囲確認。
- ④ 生田川出口で車が混雑していることがあるため前方確認。
- ⑤ メリケン波止場前右折時、対向車に注意。

危険箇所(2経路)

- ⑥ 本社出庫時、左右確認。
- ⑦ 阪神高速4号湾岸線合流時、周囲確認。
- ⑧ 高速道路走行時、橋の上では横風に煽られる事があるため、車体が振られないようにハンドル動作を注意。
- ⑨ 港湾幹線道路走行時、混雑している可能性があるため玉突き事故に注意する。
- ⑩ 細い道で、歩行者が多いため、接触事故に注意する。